

世 界 史

注 意

1. 問題冊子は全部で15ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶすこと。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)



4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

現在のアフリカをめぐる国際政治において、2010年に(あ)で始まったいわゆるジャスミン革命、そしてこの民主化運動が(い)や(う)へと広がり、「アラブの春」と呼ばれる大きな関心事となっている。またアフリカ東端に位置する(え)は、公海上の海賊行為で有名だが、この半島地帯は東西冷戦時代に、その地政学的位置から重要視され「アフリカの(A)」と呼ばれる。歴史を振り返ると、19世紀後半からのいわゆる帝国主義の時代において、アフリカは植民地獲得競争を行うヨーロッパ大国が対立する地域であった。北アフリカへの進出をめぐるフランスと対立していたイタリアは前年にフランスが(あ)を植民地としたことを契機として、1882年(B)を締結した。その後イタリアは1911~12年にオスマン帝国と戦争をして(い)を植民地とした。一方、1882年、イギリスは(う)を軍事占領したが、これ以降もともと(う)に強い利害関係を持っていたフランスと衝突することになる。この対立は1898年のファシヨダ事件を引き起こし、さらには(C)の強化につながり、もともと対(B)の目的で結ばれた(C)の中にイギリスとの戦争を想定した対英条項が付け加えられた。しかしながら、その後1904年には英仏協商が締結され、英仏両国間でヨーロッパ外の地域における利害調整が行われて、特に(う)におけるイギリス、(お)におけるフランスの優位を認め合った。また、(え)は北部をイギリス、南部をイタリアが領有することとなった。一方、(か)をめぐる対立の調整のために1884年にベルリン会議が開かれ、この会議を主宰したドイツは「ドイツ領東アフリカ」を植民地とした。20世紀初めにはアフリカにおける独立国は殆どなくなってしまうが、エチオピアは1896年に(D)の戦いで侵略してきたイタリア軍を破りその独立を守った。

問 1 (あ)～(か)にあてはまる国名を次の選択肢の中からひとつずつ選んで、解答用紙(その1)にそれぞれマークしなさい。

- | | | |
|----------|---------|----------|
| a アルジェリア | b アンゴラ | c エジプト |
| d ケニア | e コンゴ | f シエラレオネ |
| g ジンバブエ | h スーダン | i ソマリア |
| j チュニジア | k ニジェール | l マダガスカル |
| m 南アフリカ | n モロッコ | o リビア |

問 2 (A)にはいる言葉を次の選択肢の中からひとつ選んで、解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a 肘 b 角 c 腕 d 牙 e 鼻

問 3 (B)～(D)にあてはまる語句を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 4 下線部①に関して、イタリアの植民地ではなかったものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a トリポリタニア
b エリトリア
c ジブチ
d フェザーン
e キレナイカ

問 5 下線部②に関して、そのきっかけとなった事件の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 6 下線部③に関して、英仏協商は3つの共同宣言や協定を総称したものであるが、その対象地域ではないものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a タイ
- b ニューファンドランド
- c ニューヘブリデス諸島
- d ナイジェリア
- e ニューカレドニア

問 7 下線部④に関して、19世紀末にドイツ領ではなかったものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a マーシャル諸島
- b パラオ諸島
- c ビスマルク諸島
- d マリアナ諸島
- e ギルバート諸島

問 8 下線部④に関して、「ドイツ領東アフリカ」のカタカナ名を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 9 下線部⑤に関して、当時のエチオピアの皇帝の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

Ⅱ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

第二次世界大戦後の世界の特徴のひとつは、国際社会と地域の双方で経済や政治・安全保障に関する様々な制度(組織や条約、協定、合意など)が形成されたことである。

はじめに国際制度を見てみよう。国際連盟^(イ)に代わって国際連合^(ロ)が設立された。経済や開発の分野でも新しい制度が発足した。第二次世界大戦末期に連合軍代表がブレトン・ウッズに集まり、国際通貨基金(IMF)と世界銀行の設立に合意^(ハ)した。また戦後間もなく、関税と貿易に関する一般協定(GATT)が結ばれた。

安全保障の分野では、1963年に部分的核実験停止条約^(ニ)が結ばれた。1968年には核拡散防止条約(NPT)^(ホ)が締結された。

もうひとつが地域制度の形成である。経済の地域制度を発展させた代表的な地域は欧州である。1952年にECSC^(ヘ)を創設した。地域協力を他の経済分野にも拡大するために1957年に(①)条約が結ばれ、1958年には欧州経済共同体^(ト)(EEC)と欧州原子力共同体(EURATOM)が設立された。さらにEECなどが発展して、1967年に欧州共同体(EC)が誕生した。

政治や安全保障に関する地域制度も形成された。欧州では冷戦の対立を緩和するために、全欧安全保障協力会議(CSCE)^(チ)が1970年代の中頃に設立された。米州圏では、1947年の(②)及び翌年のボゴタ憲章に基づいて地域の平和と安全を強化するために米州機構が発足した。アラブでは、1945年に、エジプトなどの諸国がアラブの統一行動を目指して(③)を設立した。アフリカでは1963年に(④)が発足し、アフリカ諸国の連帯と植民地主義の克服を目指した。アジアでは1967年に、ASEAN(東南アジア諸国連合)^(リ)が発足した。

問 1 下線部(イ)に関し、国際連盟の委任統治制度のもとで、イラク・トランスヨルダン・パレスチナの地を委任統治した国の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 2 下線部(イ)に関し、国際連盟の委任統治制度のもとで、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島を委任統治した国の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 3 下線部(イ)に関して、最も適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (あ) ソ連は常任理事国のひとつであった。
- (い) 第一次世界大戦の敗戦国ドイツは後に常任理事国になった。
- (う) 日本は常任理事国の地位を目指したが実現しなかった。
- (え) 常任理事国には拒否権が与えられた。
- (お) 設立時の常任理事国数は10カ国であった。

問 4 下線部(ロ)の国際連合の設立に関して、最も適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (あ) 国際連合設立時のアメリカの大統領はフーバーである。
- (い) 国際連合憲章採択の会合が開催されたのはアメリカのワシントンである。
- (う) 国際連合設立時の加盟国数はおよそ90であった。
- (え) 国際連合憲章は日独などの旧枢軸国の集団的自衛権の行使を禁止した。
- (お) 国際連合設立時に中国を代表していたのは中華民国(国民政府)である。

問 5 下線部(イ)に関し、不適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (a) これらの諸制度は、いずれもアメリカの通貨であるドルを基軸通貨としていた。
- (イ) GATTの目的は、国際貿易の縮小を通じて発展途上国の経済的自立を促すことにあった。
- (ウ) 各国の通貨の交換比率(為替相場)は米ドルを基準にして価値が固定された。
- (エ) 世界銀行の活動の目的は戦後復興と途上国の経済開発にあった。
- (オ) アメリカ政府は米ドルと金との兌換停止を1971年に発表した。

問 6 下線部(ニ)の条約の内容に関し、最も適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (a) この条約は、大気圏内、宇宙空間および水中における核実験を禁止した。
- (イ) この条約に最初に署名したのはアメリカ、ソ連、イギリス、フランスの4か国である。
- (ウ) その後すべての核実験を禁止する包括的核実験禁止条約(CTBT)が結ばれ、今日この条約が発効している。
- (エ) 中国は1980年にこの条約に署名した。
- (オ) インドは1976年にこの条約に署名した。

問 7 下線部(ニ)に関し、この条約が署名された時のソ連の首相の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 8 下線部(ホ)の核拡散防止条約(NPT)に関して、不適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (ア) この条約は核兵器国をアメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中国に限定した。
- (イ) 非核兵器国は原子力の平和利用の権利を認められた。
- (ウ) 非核兵器国は核兵器の製造や取得が禁じられた。
- (エ) インドとパキスタンは1990年にNPTに署名した。
- (オ) 北朝鮮はNPTにいったん署名したが、その後脱退を宣言した。

問 9 下線部(ハ)に関し、最も適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (ア) 加盟国の石油産業を共同管理のもとに置いた。
- (イ) 労働者の国境を越えた移動を自由化した。
- (ウ) 加盟国の石炭と鉄鋼業を共同運営した。
- (エ) 加盟国の関税を相互に撤廃した。
- (オ) 加盟国の為替管理を共同で行った。

問10 下線部(ト)に関し、最も適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (ア) EEC 設立時の加盟国はフランス、イタリア、西ドイツ、イギリス、オランダ、ベルギーの6カ国である。
- (イ) EEC のもとで加盟諸国は共通の外交・安全保障政策を推進し、共同の常備軍を設置した。
- (ウ) ポーランドは東欧諸国の中で唯一 EEC に加盟した。
- (エ) EEC に対抗するためにアメリカは1960年にカナダ、メキシコとの間で北米自由貿易協定を締結した。
- (オ) EEC が発足したときの西ドイツの首相はアデナウアーである。

問11 下線部(チ)に関し、不適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙

(その1)にマークしなさい。

- (ア) 武力不行使や東西交流の拡大を目指したこの会議は、冷戦終結後に常設の全欧安保協力機構(OSCE)となった。
- (イ) CSCEに先立つ1971年に、米・ソ・英・仏の4カ国はベルリンの現状維持協定を結んだ。
- (ウ) この背景には米ソ間の緊張緩和(デタント)があった。
- (エ) 西ドイツ政府はCSCEに先立ち、社会主義諸国との関係改善を図る東方政策を推進していた。
- (オ) CSCEは欧州の安全保障の問題を議論する場であったので、アメリカ政府は参加を見送った。

問12 下線部(リ)のASEANに関し、不適切なものを次の選択肢の中からひとつ選び解答用紙(その1)にマークしなさい。

- (ア) ASEAN設立時の加盟国は5カ国である。
- (イ) ベトナムは1995年に加盟した。
- (ウ) ミャンマーは軍事政権の人権侵害のために加盟が認められていない。
- (エ) 設立時のフィリピンの大統領はマルコスである。
- (オ) 今日、ASEAN自由貿易協定(AFTA)が既に発効している。

問13 ①～④の空欄に入る最も適切な語句を解答用紙(その2)に記入しなさい。

Ⅲ 次のA～Fは欧米を中心とした戦争ないし戦後体制に関する史料を抜粋したものである。これらの史料について、下記の設問に答えなさい。

A

兵に告ぐ

1805年12月3日

兵隊よ、私は諸君に満足である。諸君は、の戦闘において、私が諸君の勇敢にかけた期待を裏切らなかった。諸君は諸君の軍旗を不滅の栄光によって飾った。ロシア皇帝とオーストリア皇帝との指揮する十万の軍は、四時間足らずして、^①或いは遮断され^②或いは四散させられた。諸君の砲火を免れた者も湖水に溺れて死んだ。ロシアの近衛隊の四十本の軍旗、百二十門の大砲、二十人の將軍、三万以上の捕虜が、永久に有名なこの日の戦果である。[…]

兵隊よ、われわれの祖国の幸福と繁栄との確保に必要な一切のことが達成された暁には、私は諸君をフランスに連れ戻るのであろう。かしこでは、諸君は私の最もやさしい配慮の的となるであろう。私の国民はふたたび諸君にまみえて喜ぶであろう。そして諸君は、《私はの戦闘に加わっていた》といいさえすれば、こういう答えを受けるであろう、《ああこの人は勇士だ！》と。

B

87年前、われわれの祖先は、自由を胸にいだき、すべての人は平等につくら^③れているとの信条に身をささげ、この大陸に新しい国家を建設したのであります。今やわれわれは、一大国内戦争に従事して、その国家が、あるいはまた、同じ思想を胸にいだき^④同じ信条に身をささげるあらゆる国家が、永続し得るか否かの試練をうけているのであります。われわれはいまその戦争の一大激戦地に^⑤あつまっています。われわれは、その土地の一面を、国家の存続のためにここで命を投げ出した人々へ、最後の憩いの場所としてささげるために、来たのであります。こうするのは極めて時宜を得た当然の行為であります。

[…]この国に、神のめぐみのもと、自由の新しき誕生をもたらし、また、人民の、人民による、人民のための政府が、この地上より消滅することのないようにすべきであります。

C

第3編 欧州政治条項

42条 ドイツはライン川左岸およびライン東方50kmの線以西の右岸のいずれにおいても、いかなる要塞をも維持もしくは建設することを禁じられる。

[…]

45条 ドイツはフランス北部の炭鉱破壊に対する補償として、〔…〕ザール川流域にある炭鉱に対する完全かつ絶対的な所有権およびその採掘の独占権を〔…〕フランスに譲渡する。

80条 ドイツは〔…〕オーストリアの独立を承認し、かつ厳かにこれを尊重しなければならない。ドイツは〔…〕その独立を変更しえないことを承認する。

116条 ドイツは〔…〕ヴェルサイユ条約その他、ロシア過激派政府と締結した一切の条約および取り決めの無効を確認する。

D

われわれ、アメリカ合衆国大統領、中華民国総統ならびに英国首相は、数億人の国民を代表して協議し、日本に戦争を終結する機会を与えることに同意した。

[…]

われわれは日本政府に対して、ただちに全日本軍の無条件降伏を宣言し、そうした行為を誠実に遂行する、適切かつ十全に保証された措置をとることを要求する。

E

そのような組織、あるいは「組織委員会」に託された仕事を見れば、ヨーロッパの国々がアメリカの支配下に置かれ、国家的・経済的独立を失ってしまうだろうことは、あまりにも明らかであります。それは、この計画が一部の大国に都合よくできているからです。〔…〕この計画は何をもたらすのでしょうか？

今日にもポーランドは、他の産業を犠牲にしてでも石炭を増産せよと圧力がかけられるかもしれません。そうすればヨーロッパの一部の国々の利益になるからです。明日にはチェコスロバキアが、農業生産を高め、設備機材産業を縮小せよ

といわれるかもしれません。そして、高い値で売りつけたがっている他のヨーロッパ諸国から設備資材を持ってきて、それをチェコスロバキアに勧めるでしょう。(1947年7月2日)

F

ロシア、ドイツ、フランスは、緊密に協議を重ねた結果、国連が決定する適切な解決方法に従ったイラクの非武装化こそが〔…〕、国際社会の共通の目標であり、そのような形での非武装化をできるかぎり早期に実現しなければならないことを再確認した。

〔…〕コフィ・アナン事務局長がつい先日呼びかけたように、解決策はいかなるものであれ、国連憲章の原則に則ったものでなければならない。〔…〕国連と による査察は、すでにそれなりの結果を出している。ロシア、ドイツ、フランスは、査察の続行、およびその人道的・技術的能力の実質的強化のためにあらゆる方法で協力する。もちろん、査察官との協議にも応じる所存である。〔…〕戦争に代わる方法はまだあるはずだと私たちは確信している。軍事力の使用は最終手段でしかない。ロシア、ドイツ、フランスは、イラクの非武装化の平和的な実現に向けて、あらゆる機会を提供する決意である。

問 1 史料Aについて、アに入る地名を次の選択肢の中からひとつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a マレンゴ
- b アウステルリッツ
- c トラファルガー
- d ワーテルロー
- e ライプチヒ

問 2 史料Aについて、下線部①、②のそれぞれの人物の組み合わせとして正しいものを次の選択肢の中からひとつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a アレクサンドル1世—フランツ1世
- b アレクサンドル2世—フランツ1世
- c アレクサンドル1世—フリードリヒ2世
- d ニコライ1世—フリードリヒ1世
- e ニコライ2世—フランツ2世

問 3 史料Aについて述べた次の文章の(①)(②)に入る言葉の組み合わせとして正しいものを次の選択肢の中からひとつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

この戦いの結果、英首相(①)が中心となって結成した(②)が崩壊することになった。

- a ピット—第1回対仏大同盟
- b ネルソン—第2回対仏大同盟
- c ピット—第3回対仏大同盟
- d マラー—第1回対仏大同盟
- e ジョージ—第2回対仏大同盟
- f ネルソン—第3回対仏大同盟

問 4 史料Bについて、下線部③「87年前」とは、何年に当たるか。正しい年代を次の選択肢の中からひとつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a 1629年 b 1776年 c 1787年 d 1789年 e 1793年

問 5 史料Bについて、下線部④の戦争の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 6 史料Bについて、下線部⑤の地名を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 7 史料Cについて述べた次の文章の(①)～(④)に入る語を以下の選択肢からそれぞれひとつずつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

この条約は、(①)で連合国代表が集まって開かれた講和会議の結果、締結されたものである。講和の枠組みは米大統領(②)が提案した十四か条とされ、会議において主要な役割を果たしたのは、(②)米大統領のほか、英首相(③)と仏首相(④)であった。この条約はドイツに重い賠償を要求するものとなった。

選択肢

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| a ミュンヘン | b パリ | c ワシントン |
| d ロンドン | e ローズヴェルト | f ウィルソン |
| g ハーディング | h クーリッジ | i クレマンソー |
| j ボワンカレ | k プルム | l チャーチル |
| m ボールドウィン | n ロイド・ジョージ | o アトリー |
| p カルノー | | |

問 8 史料Cについて、イに入る条約名を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問 9 史料Cについて、下線部⑥「ロシア過激派政府」とあるが、この政府について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

- ① 十月革命の直後、「土地に関する布告」が出され、地主の土地が没収されると同時に、大規模な農業集団化が始まった。
- ② 徴兵制を敷いて赤軍を組織し、警察機関を設置したほか、世界革命を目指して第1インターナショナルを創設した。
- ③ 新経済政策(NEP)を採用し、中小企業の私的営業を許し、農民にも現物税納入後の余剰穀物の自由販売を認めた。
- ④ コミンテルンを結成する一方、重工業化の推進による社会主義国家建設を目指し、第1次五カ年計画を実行した。

問10 史料Dについて、下線部⑦～⑨にあたる人物名を、次の選択肢からそれぞれひとつずつ選び、その記号を解答用紙(その1)の同じ解答欄に三つともマークしなさい。

- | | | |
|------------|------------|----------|
| a ローゼンヴェルト | b マッカーサー | c トルーマン |
| d アイゼンハウアー | e ロイド・ジョージ | f クレマンソー |
| g アトリー | h チャーチル | i 鄧小平 |
| j 毛沢東 | k 蔣介石 | l 周恩来 |

問11 史料Eはソ連(当時)の外務大臣による声明である。これについて、下線部⑩「この計画」を発表した米国務長官の名前を解答用紙(その2)に記入しなさい。

問12 史料Fについて、この共同声明を発表した下線部⑪～⑬のそれぞれの国の国家元首の名前を記したものとして、正しい組み合わせを次の選択肢からひとつ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

- a プーチン—シュレーダー—シラク
- b プーチン—コール—ミッテラン
- c ゴルバチョフ—メルケル—シラク
- d ゴルバチョフ—シュレーダー—ミッテラン
- e エリツィン—コール—サルコジ
- f エリツィン—シュミット—シラク

問13 史料Fについて、ウに入る機関の名前をアルファベットによる略称で解答用紙(その2)に記入しなさい。

問14 史料Fについて述べた次の文章の(①)に入る人物名を解答用紙(その2)に記入しなさい。また、(②)に入る法律の名前を下の選択肢から一つ選び、その記号を解答用紙(その1)にマークしなさい。

この共同声明が発表された直後、アメリカはイギリスなどとともに(①)政権打倒を掲げてイラク戦争を開始した。日本の小泉純一郎内閣も国会で(②)を決議し、政府は初めて紛争地域に武装した自衛隊を派遣した。

- a 国連協力特別措置法
- b テロ対策特別措置法
- c 自衛隊海外派遣特別措置法
- d 国連平和維持活動協力法
- e イラク復興支援特別措置法

